エコアクション21
環境活動レポート

平成29年度版
（運用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日）

光進工業株式会社

作成日付：平成　30年　5月　21日

エコアクション21
認証・登録番号 0008526

目　次

1, 事業活動の概要

1-1　事業概要 …… 1
1-2　対象範囲 …… 1
1-3　事業の規模 …… 1
1-4　会社沿革 …… 2
1-5　組織図 …… 2
1-6　処理実績・許可一覧
　1-6-1　処理実績 …… 3
　1-6-2　建設業許可一覧 …… 3
　1-6-3　一般廃棄物収集運搬業許可一覧 …… 3
　1-6-4　産業廃棄物処分業許可一覧 …… 3
　1-6-5　産業廃棄物収集運搬業許可一覧 …… 4
　1-6-6　車両の種類と台数一覧 …… 4

2, 企業理念・環境方針

2-1　社訓・企業理念 …… 5
2-2　環境方針 …… 6

3, 環境目標

3-1　当年度及び環境目標
　3-1-1　事務所編 …… 7
　3-1-2　工事編 …… 8
　3-1-3　陽だまり寮編 …… 8

4, 環境活動計画

4-1　環境活動計画
　4-1-1　事務所編 …… 9
　4-1-2　工事編 …… 10
　4-1-3　陽だまり寮編 …… 10

5, 目標実績・次年度の活動計画

5-1　目標実績及び次年度の取組内容
　5-1-1　事務所編 …… 11
　5-1-1①　活動計画の取組結果 …… 11
　5-1-2　工事編 …… 12
　5-1-2①　活動計画の取組結果 …… 12
　5-1-3　陽だまり寮編 …… 12
　5-1-3①　活動計画の取組結果 …… 12
　5-1-4　別表（グラフ） …… 13
5-2　次年度の活動計画の内容 …… 14

6, 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・違反訴訟等の有無

6-1　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果・違反訴訟等の有無 …… 14

7, 代表者による全体評価と見直しの結果

7-1　代表者による全体評価と見直しの結果（総評） …… 15

8, 取組内容

8-1　取組内容1～6 …… 16～21

9, 廃棄物処理フロー図・一般廃棄物収集運搬フロー図

9-1　廃棄物処理フロー図1～7 …… 22～28
　一般廃棄物処理フロー図8 …… 29

事業活動の概要

1-1,事業概要

【 事 業 所 名 】　光進工業株式会社

【 代 表 者 名 】　代表取締役　細川　忠広（ﾎｿｶﾜ　ﾀﾀﾞﾋﾛ）

【 所 在 地 】　本社工場　：北九州市小倉北区西港町125番8号
陽だまり寮　：北九州市小倉北区日明5丁目5-28

【 設 立 年 月 日 】　昭和53年11月（創業より47年）

【 資 本 金 】　2,000万円

【環境管理責任者】　輸送事業部　部長　橋本　正孝　（ﾊｼﾓﾄ　ﾏｻﾀｶ）

【連絡担当者名】　経理課　玉井　和美　（ﾀﾏｲ　ｶｽﾞﾐ）

【 連 絡 先 】　TEL（093）581-7046
FAX（093）581-7007

【 E- m a l 】　info@k-recycle.com

【ホームページ】　http://www.k-recycle.com

【 事 業 の 内 容 】　産業廃棄物処分業（破砕・圧縮・溶融）・産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業（A類）
建設業（土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業）
再生材料販売・合材木材販売・更生保護事業

【当社の事業年度】　4月1日～翌年3月31日

1-2,対象範囲

【認証・登録範囲】　全組織・全活動

1-3,事業の規模

【 事 業 の 規 模 】

	単位	平成27年	平成28年	平成29年
売上高	百万円	409	539	496
従業員数	人	38	41	41
事業所面積	m2	332	332	332
倉庫床面積	m2	1312	1312	1312
資機材置場面積	m2	2225	2225	2225
工場・作業所等床面積	m2	6386	6386	6386

1-4,会社沿革

昭和46年　個人経営として、北九州市小倉北区日明にて【光進工業】を創業

昭和48年　建設業許可を取得

昭和53年　資本金3,000,000円で、【光進工業株式会社】を設立

昭和54年　産業廃棄物収集運搬許可取得

昭和56年　北九州市小倉北区西港町へ、事務所移転

昭和63年　資本金6,000,000円に増資
北九州市小倉北区西港町に新事務所移転・車庫設置

平成5年　産業廃棄物処分業許可取得

平成6年　資本金10,000,000円に増資

平成7年　現在の事務所　北九州市小倉北区西港町125-8に移転

平成10年　一般廃棄物収集運搬許可所得

平成15年　北九州市より、産業廃棄物業優良業者として認定（平成15年度）

平成16年　廃石膏ボードのリサイクル製品がエコプロダクツに認定

平成18年　北九州市より、石膏ボード2次製品が環境自慢に認定

平成20年　北九州市より、産業廃棄物業優良業者として認定（平成20年度）

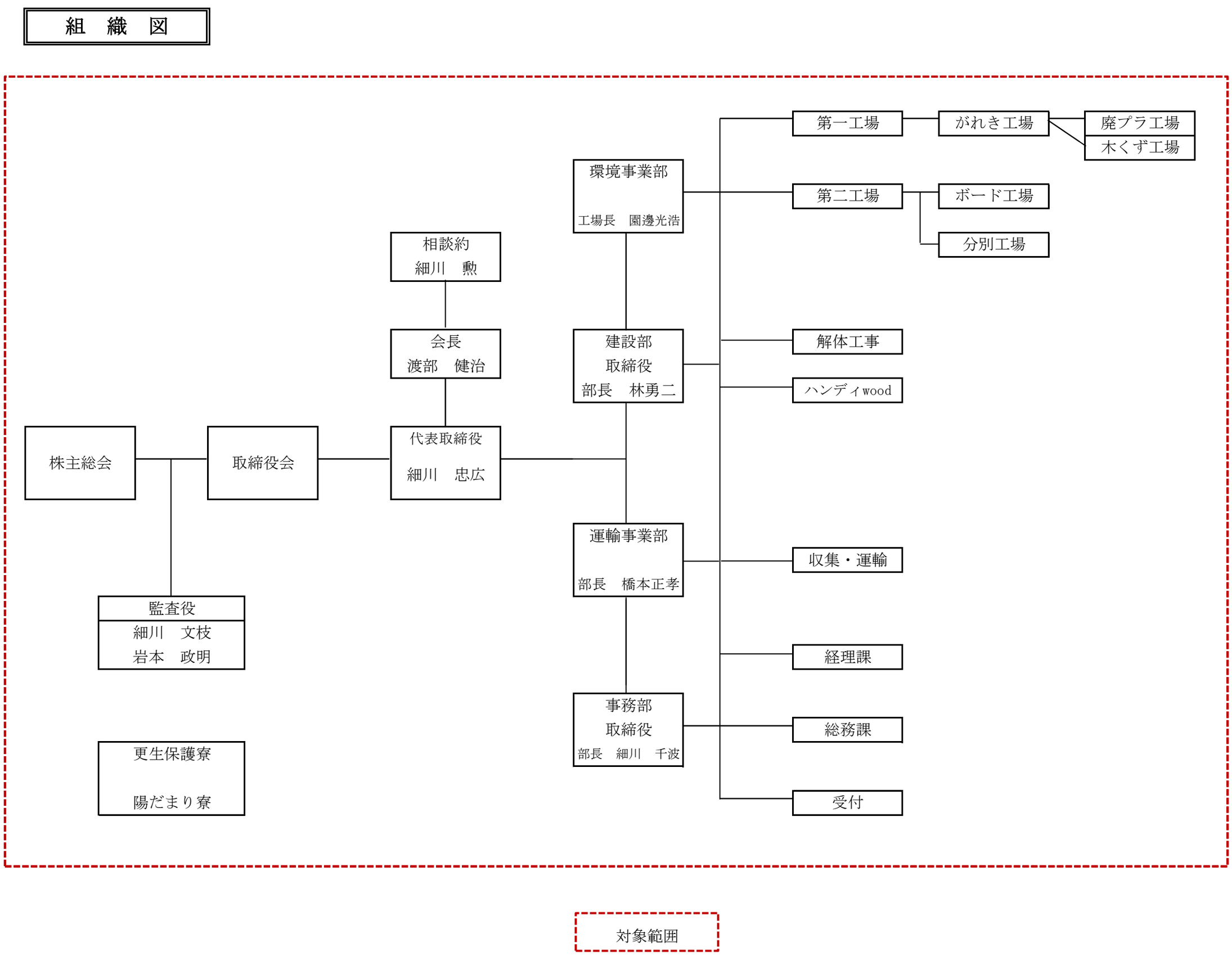
平成24年　資本金20,000,000円に増資
エコアクション21を取得

平成26年　鞍手事業所を開設（平成26年7月1日）

平成27年　社会復帰を目的とした更生支援寮【陽だまり寮】を建造（民間企業として日本初）

平成28年　鞍手事業所を閉鎖（平成28年4月15日）

1-5,組織図



1-6,処理実績・許可一覧

1-6-1,処理実績

(t)	がれき類	ガラスくず	廃石膏ボード	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	紙くず	木くず・繊維くず	金属くず	塵芥	ｶﾝ・ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ	合計
産業廃棄物処分量	41,168.41	5,224.22	9,559.00	2,354.90	170.88	2393.32	－	－	－	60,870.73
産業廃棄物収集運搬量	9,830.22	8,000.59	148.18	140.77	23.87	874.17	－	－	－	19017.8
一般廃棄物収集運搬量	－	－	－	－	－	－	－	29.4	3.6	33

1-6-2,建設業許可一覧

許 可 番 号	福岡県知事　許可（　般-23　）　第10979号
許可の有効期間	平成28年10月19日　から　平成33年10月18日　まで
種　　類	建築工事業　　土木工事業　　とび・土工工事業　　解体工事業

1-6-3,一般廃棄物収集運搬業許可一覧

許 可 番 号	北九一廃　　第177号
許 可 期 間	平成30年　4月　1日　から　平成32年　3月31日　まで
事 業 の 範 囲	A類（ふん尿を除く一般廃棄物）
積　　替	無
事 業 の 区 域	北九州市内

1-6-4,産業廃棄物処分業許可一覧

1．事業範囲

事業区分	破　砕	圧　縮		破砕・減容
廃棄物の種類	がれき類・ガラスくず・廃プラスチック・木くず・繊維くず・鉱さい	廃プラスチック	紙くず	廃プラスチック
許可番号	許可番号第　7620008204　号			

2．事業の用に供する全ての施設

施設の種類	破砕施設							圧縮施設		破砕・溶融施設	
廃棄物の種類	ガラスくず	がれき類	鉱さい	廃石膏ボード	廃プラスチック	木くず	繊維くず	廃プラスチック	紙くず	廃プラスチック	廃プラスチック
設置場所	福岡県北九州市小倉北区西港町125－8										
設置年月日	5．9．16			13．11．19	22．3．4			16．9．24		17．4．6	27．3．.23
処理能力	320t／日	320t／日	440t／日	16t／日	4．15t／日	6．45t／日	1．49t／日	1．7t／日	2．6t／日	0．08t／日	0．18t／日
許可年月日	平成25年　9月16日										
許可有効年月日	平成30年　9月15日										
許可番号	許可番号第　7620008204　号										
処理方式	破砕			破砕	破砕			圧縮		破砕・減容	破砕・減容
構造・設備の概要	RC40・RM25・KRB40			0．425㎜	30㎜			プレスプラ プレス紙		インゴット	インゴット
環境保全対策	散水により　粉じん対策に努める			室内工場 集塵機 カーテンを使用 換気扇の使用	室内工場 換気扇の使用			室内工場 換気扇の使用		室内工場 換気扇の使用	室内工場 換気扇の使用

1-6,処理実績・許可一覧

1-6-5,産業廃棄物収集運搬業許可一覧

産業廃棄物収集運搬業				許可項目												備考
都道府県及び制令都市	積替保管	許可の年月日及び有効月日	許可番号	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	ガレキ類	鉱さい	積換保管施設の所在地及び面積、許可の条件
福岡県	無	平成29年 5月23日 平成34年 5月22日	第4000008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
山口県	無	平成29年 6月18日 平成34年 6月17日	第3500008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
佐賀県	無	平成29年 9月 3日 平成34年 9月 2日	第4101008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大分県	無	平成29年 9月12日 平成34年 9月11日	第4408008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
熊本県	無	平成29年12月 4日 平成34年12月 3日	第4305008204	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

1-6-6,車両の種類と台数一覧

種類	車格	規格	台数
ダンプ	10t	9.35m×2.49m×3.00m	1台
ダンプ	10t	7.68m×2.49m×3.20m	1台
ダンプ	4t	5.35m×2.19m×2.54m	1台
着脱装置付コンテナ専用車	4t	6.75m×2.19m×2.43m	1台
着脱装置付コンテナ専用車	4t	6.78m×2.25m×2.43m	1台
着脱装置付コンテナ専用車	3t	4.35m×1.69m×1.99m	1台
キャブオーバ	2t	4.69m×1.69m×1.95m	1台
キャブオーバ	2t	4.69m×1.69m×1.96m	1台
キャブオーバ	軽	3.39m×1.47m×1.79m	1台
散水車	4t	5.76m×2.18m×2.51m	1台

企業理念・環境方針

2-1,社訓・企業理念

【社訓】

誠意　：　は人の道なり。
　　いつも真心を

創意　：　は進歩なり。
　　常に工夫と改善を

熱意　：　は心なり。
　　何事も一生懸命に

【経営理念】

存在理念　：　私たちは安心して
　　快適な生活環境づくりを
　　通じて一人ひとりの夢を
　　実現します

経営理念　：　挑戦する経営
　　人を活かす経営
　　顧客重視の経営
　　公正で開かれた経営

【行動規範】

行動理念　：　自律
　　スピード
　　チームワーク
　　信頼

環 境 方 針

【基本理念】

光進工業株式会社は、「地球にやさしい企業」を目指し、石膏ボードやがれき類など
産業廃棄物の100％リサイクルに向け、日々研究開発に取り組む「環境屋」です。
資源を上手に活用し、環境負荷の低減を推進した事業活動を行います。

【行動指針】

環境経営システムを構築し、しっかりとした運用を行う事で、環境負荷の低減を積極的かつ、
継続的に推進します。
そのために以下の事項を重点的に取り組みます。

(1) 二酸化炭素の排出量削減
使用エネルギー（電気・ガソリン・重油・軽油）の削減に努めます。

(2) 廃棄物の排出量削減・廃棄物の分別・リサイクル
廃棄物の排出量を削減し、分別をしっかり行う事でリサイクルに取り組みます。
生産効率を上げ、リサイクル商品の販売促進に努め、廃棄物での新しい商品
開発を行います。

(3) 水使用量の削減
工場内での使用水はリサイクル水を使用し、水の節水に努め、
水道水使用量の削減に取り組みます。

(4) グリーン購入の推進
事務用品等、エコマーク商品を積極的に購入します。

(5) 環境関連法規等の遵守
事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。

(6) 全社員の関わり
弊社は【環境屋】として、全社員で環境活動に積極的に取り組み、
環境意識向上に向けた社員教育を行います。

(7) 地域社会との関わり
地域社会とのコミニュケーションを図り、積極的に清掃活動やボランティア活動に
努めます。

(8) その他
①化学物質（塗料）のMSDSを保有し、MSDSに従って化学物資を適正保管します。
②環境方針を全社員に周知徹底させるとともに、社外へも文書にて公表致します。

制定日　平成23年11月1日

光 進 工 業 株 式 会 社

代表取締役社長　細川　忠広

3-1,当年度及び中期環境目標

3-1-1,事務所編

環境目標		単位(＊1)	平成20･21･22年度平均 (基準年度)	平成29年度 目標	平成30年度 目標	平成31年度 目標
1	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2/ 百万円	961.80	884.85以下 (8%)	884.85以下 (8%)	884.85以下 (8%)
2	廃棄物排出量 の削減	kg/百万円	525.21	488.44以下 (7%)	488.44以下 (7%)	488.44以下 (7%)
3	使用量(排水量) の削減	m3/百万円	10.15	9.54以下 (6%)	9.54以下 (6%)	9.54以下 (6%)
4	グリーン購入 の推進促進	－	エコマーク商品の調査を行い、購入時には積極的にエコマーク商品を購入する。			
5	化学物質使用量 の削減	－	化学物質の適正な管理に努める。			
6	リサイクル率 の向上	－	リサイクルの向上に努める。			
7	会社周辺の 清掃活動	実施回数	1回/月	1回/月(維持)	1回/月(維持)	1回/月(維持)

(*1) 単位 20.21.22年の売上平均金額(約380百万円)

(*2) ( )の中は基準年度よりの削減%を表す

＊ 二酸化炭素排出係数は、電力:0.483kg-CO2/kWhを用いた。(平成28年度 九州電力㈱の排出係数)

＊ 廃棄物排出量とは、自らが排出事業者となる一般廃棄物及び産業廃棄物であり、受託した一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬量は含まないものとした。

3-1,当年度及び中期環境目標

3-1-2,工事編

環境目標		単位(＊1)	平成20・21・22年度平均 (基準年度)	平成29年度 目標	平成30年度 目標	平成31年度 目標
1	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2/ 百万円	23.55	21.66以下 (8%)	21.66以下 (8%)	21.66以下 (8%)
2	使用量(排水量) の削減	m3/百万円	3.38	3.38(維持)	3.38(維持)	3.38(維持)
3	建設騒音 の極力防止	-	防音シートを使用し、建設騒音を防止する。			

(*1) 単位 20.21.22年の売上平均金額(約380百万円)
(*2) ( )の中は基準年度よりの減少%を表す

＊ 二酸化炭素排出係数は、電力:0.483kg-CO2/kWhを用いた。(平成28年度 九州電力㈱の排出係数)

3-1-3,陽だまり寮編

環境目標		単位(＊1)	平成27年度 (基準年度)	平成29年度 目標	平成30年度 目標	平成31年度 目標
1	二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2	5781.60	5492.52以下 (5%)	5319.072以下 (8%)	5319.072以下 (8%)
2	使用量(排水量) の削減	m3	472	472(維持)	472(維持)	472(維持)
3	寮周辺の 清掃活動	実施回数	1回/月	1回/月(維持)	1回/月(維持)	1回/月(維持)

(*1) ( )の中は基準年度よりの減少%を表す

＊ 二酸化炭素排出係数は、電力:0.483kg-CO2/kWhを用いた。(平成28年度 九州電力㈱の排出係数)

4-1,環境活動計画

4-1-1,事務所編

1, 二酸化炭素排出量の8%削減

取組目標		活動項目	
1	電気使用量の8%の削減	①	エアコン設定温度を決める、実行する
		②	LED・照明器具の導入を検討
		③	不要電力消費制御(不要な場合は機械を止める)
		④	昼休み・離席時の不要照明の消灯
		⑤	一定時間使用しなかった時のパソコン自動エコモード設定
2	ガソリン使用量の8%の削減	①	アイドリングストップ
		②	エコドライブの励行
		③	効率の良い運転経路の確認
		④	エコカー導入
3	軽油使用量の8%の削減	①	アイドリングストップ・回転数の見直し
4	重油使用量の8%の削減	①	アイドリングストップ・回転数の見直し
5	液化石油ｶﾞｽ(LPG)使用量の8%の削減	①	適正な火力にて使用する

2, 廃棄物総排出量の7%削減

取組目標		活動項目	
1	紙使用量の7%の削減	①	裏紙の利用
2	ゴミ排出の7%の削減	①	分別排出の徹底
		②	水分量の削減の為　干して乾燥させる

3, 水の総排出量の6%削減

取組目標		活動項目	
1	節水活用と雨水の有効活用	①	節水活用の推進
		②	雨水貯水槽の計画

4, グリーン購入の推進

取組目標		活動項目	
1	グリーン購入の推進	①	エコマーク商品の調査
		②	エコマーク商品への切り替え

5, 化学物質使用量の削減

取組目標		活動項目	
1	化学物質使用量の削減	①	化学物質の適正な管理に努めます。
		②	化学物質の蒸発を防ぐ。

6, 総製品生産量または総商品販売量の増量

取組目標		活動項目	
1	販売量の向上	①	営業活動(建設現場)を強化し、販売量向上に努める

7, 地域社会との関わり

取組目標		活動項目	
1	会社周辺の清掃活動	①	現状を維持する

4-1,環境活動計画

4-1-2,工事編

1, 二酸化炭素排出量の8%の削減

取組目標		活動項目	
1	ガソリン使用量の8%の削減	①	アイドリングストップ
		②	エコドライブの励行
		③	効率の良い運転経路の確認
		④	エコカー導入の検討
2	軽油使用量の8%の削減	①	アイドリングストップ・回転数の見直し

2, 水の総排出量の削減

取組目標		活動項目	
1	節水活用と雨水の有効活用	①	節水活用の推進

3, 建設騒音の防止

取組目標		活動項目	
1	建設騒音の防止	①	防音シートを使用し、建設騒音を防止する

4, 地域との協調

取組目標		活動項目	
1	現場周辺地域との協調・清掃活動	①	近隣挨拶及び作業後の清掃

4-1-3,陽だまり寮

1, 二酸化炭素排出量の5%の削減

取組目標		活動項目	
1	電気使用量の5%の削減	①	エアコン設定温度を決める、実行する
		②	不要照明の消灯
		③	ブレーカーにタイマーを設置する(自動電源OFF)

2, 水の総排出量の5%の削減

取組目標		活動項目	
1	水使用量の5%の削減	①	蛇口のこまめなチェック
		②	水使用時は、最低水量で使用する

3, 地域社会との関わり

取組目標		活動項目	
1	寮周辺の清掃活動	①	月1回の清掃活動

5-1,目標の実績及び次年度の取組内容

5-1-1,事務所編

●平成29年4月～平成30年3月の運用期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	平成20・21・22年度平均 基準年度	平成29年度 目標	平成29年度 実績	目標の 達成率
二酸化炭素総排出量（全社）	kg-CO2	392,709.32		434,327.17	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/ 百万円	961.80	884.85以下	1,142.96	77%
① 電気の使用量削減	kWh/ 百万円	606.33	557.82以下	287.82	194%
② 燃料の使用量削減	L/ 百万円	286.89	263.93以下	307.34	86%
廃棄物の排出量削減	kg/ 百万円	525.21	488.42以下	883.64	55%
排出水の削減	m3/ 百万円	10.15	9.54以下	7.42	129%
グリーン購入の推進	－		積極的にエコマーク 商品を購入する	調査を行い購入できた	
化学物質使用量の削減	－		化学物質の 適正な管理に努める	適正な管理が出来た	
リサイクル率	－		維持する	（再生砂利リサイクル率：100%） （再生石灰材リサイクル率：約99%）	

＊ 二酸化炭素排出係数は、電力：0.483kg-CO2/kWhを用いた。（平成28年度　九州電力㈱の排出係数）

5-1-1①,活動計画の取組結果

●二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減

削減目標を557.82kwh/百万円としたが、これの実績は目標を194%達成出来きた。
目標達成出来た要因は以前より継続して取り組んでいる、一つの部屋でみんなで仕事をする取組や工場の照明器具をエコタイプに取り替えた事などが、寄付したものと考えます。
現状維持及び今以上に毎年少しづつでも削減して行けるように、取組を実行していく。

②燃料使用量の削減

削減目標を263.93L/百万円としたが、これの実績は目標の86%しか達成出来なかった。
これの要因は、受入量の増加に伴う稼働率増大が寄付したと考えられます。
アイドリングストップ・始動時の踏み込み方等、考えて取り組めたことが寄付したものと考えます。
引き続き今の取組内容を続けていく。

●廃棄物排出量の削減

削減目標を488.44kg/百万円としたが、これの実績は目標の55%しか達成できなかった。
これの要因は、廃棄物の分別により、リサイクル化していたが、リサイクルが難しい品物が増えてきた事が寄付した事と、考えます。
リサイクル出来るようにする為に、試行錯誤し、少しでも目標に近づける様に、引続き取組み内容実行して行く。

●排出水の削減

削減目標を9.54m3/百万円としたが、これの実績は目標を129%達成出来た。
これの要因は、日々の蛇口閉め忘れチェックや、呼びかけチラシを貼ったり、蛇口に節水のプレ-取付たり、意識改善出来たことが寄付したと考えます。今後も現状の取組内容を実行して行く。

●グリーン購入の推進

購入前にカタログにてきちんと調査を行い、グリーン商品の購入が出来た。

●化学物質使用量の削減

MSDSに従って、適正な管理が出来た。

●リサイクル率

再生材は100%リサイクル出来、再生石灰は約99%リサイクル出来、現状維持出来た。

5-1,目標の実績及び次年度の取組内容

5-1-2,工事編

●平成29年4月～平成30年3月の運用期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	平成20・21・22年度平均 基準年度	平成29年度 目標	平成29年度 実績	目標の 達成率
二酸化炭素総排出量（全社）	kg-CO2	392,709.32		434,327.17	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2/ 百万円	23.55	21.66以下	78.06	28%
① 燃料の使用量削減	L/ 百万円	23.55	21.65以下	78.06	28%
排出水の削減	m3/ 百万円	3.38	3.38維持	12.07	28%
建設騒音を極力防止	ー		建設騒音を防止する	シートをして防止出来た	

＊ 二酸化炭素排出係数は、電力：0.483kg-CO2/kWhを用いた。（平成28年度　九州電力㈱の排出係数）

5-1-2①,活動計画の取組結果

●二酸化炭素排出量の削減

①燃料使用量の削減　削減目標を21.65L/百万円としたが、これの実績は目標の28%しか達成出来なかった。
これの要因は、昨年に比べ現場数が増えた事が寄付したと考えます。
日々の取組を再度確認し、エコドライブ・アイドリングストップの取組を実行して行く。

●排出水の削減

削減目標を3.38㎥/百万円としたが、これの実績は目標の28%しjか達成出来なか
これの要因は、現場数が増えた事が寄付したものと考えられます。
各現場、散水範囲・散水方法を再度確認し、無駄なく、近隣の方々のご迷惑にならない様に、取り組みを実行して行く。

●建設騒音を極力防止

建設騒音防止の為、RC現場では、きちんとシートをして騒音を防止出来た。

5-1-3,陽だまり寮編

●平成29年4月～平成30年3月の運用期間の目標に於ける実績は以下の通りであった。

項目	単位	平成27年度 基準年度	平成29年度 目標	平成29年度 実績	目標の 達成率
二酸化炭素総排出量（寮）	kg-CO2	5,781.60		7,441.92	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	5,781.60	5492.52以下	7,441.92	74%
① 電気使用量	kWh	9,900.00	9405以下	11,269.00	83%
排出水の削減	m3	472.00	472維持	112.00	421%

＊ 二酸化炭素排出係数は、電力：0.483kg-CO2/kWhを用いた。（平成28年度　九州電力㈱の排出係数）

5-1-3①,活動計画の取組結果

●二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減　削減目標を9405kWhとしたが、これの実績は目標の74%しか達成出来なかった。
これの要因は、きちんと取り組んでいるように感じていましたが、
各部屋の電気使用状況が見えてなかった部分と、寮生の入れ替わりに、
周知徹底が出来ていなかった事が寄与したと考えられます。
毎週行われる面接時に、再度、周知を行い改善して行く。

●排出水の削減

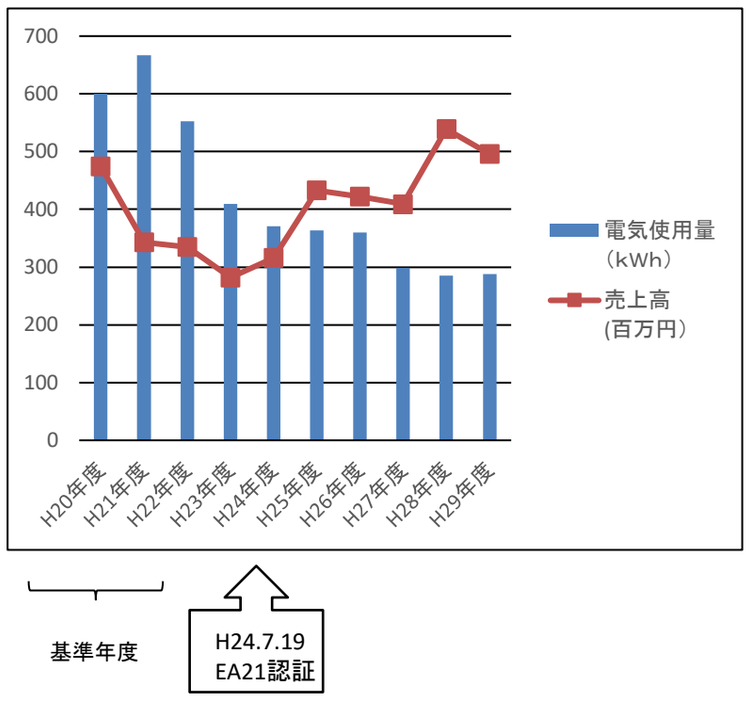
削減目標を472㎥としたが、これの実績は目標の421%達成出来た。
これの要因は、共同で利用する為、寮生の意識改善が寄与したと考えられます。
今後も、引続き取組を実行して行く。

5-1,目標の実績

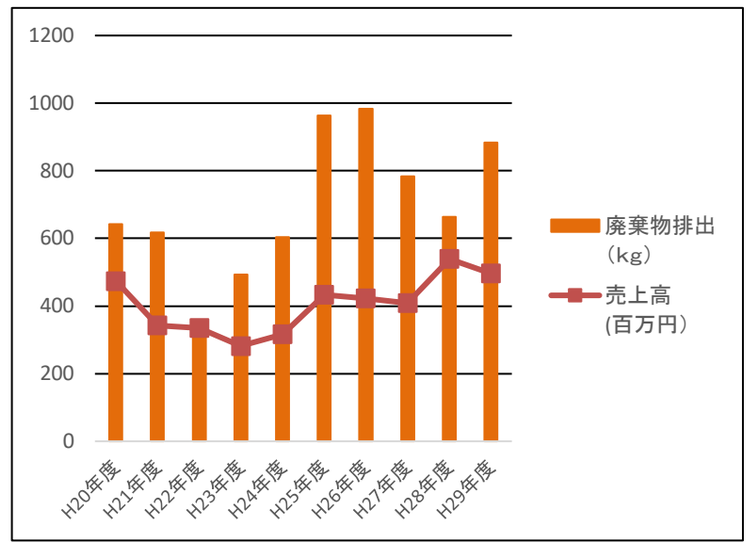
5-1-4,別表(グラフ)

【事務所・工場編】

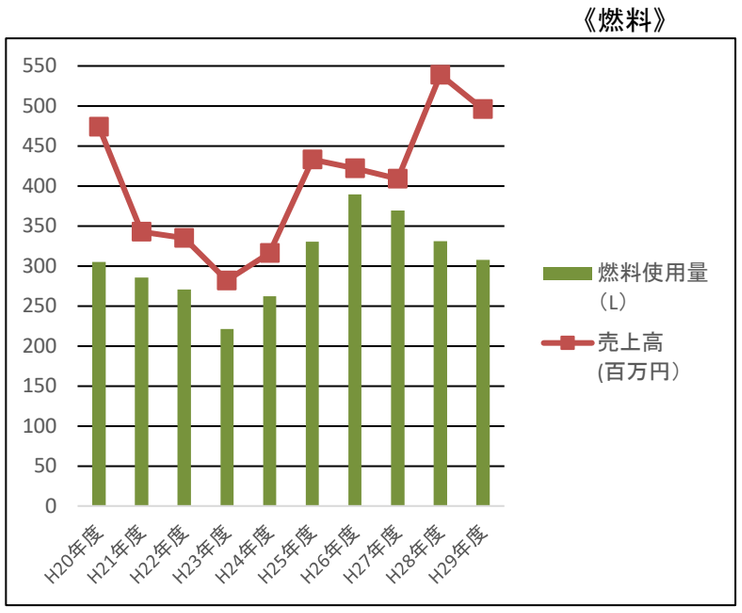
《電気》



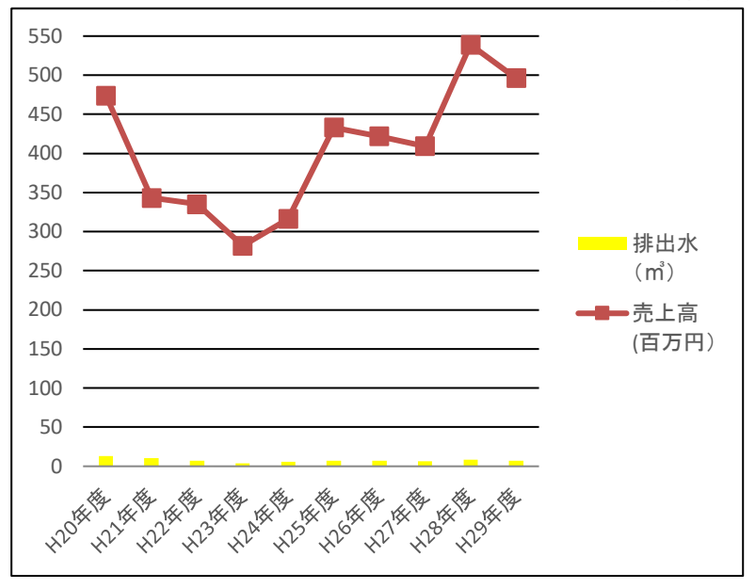
《廃棄物》



《燃料》

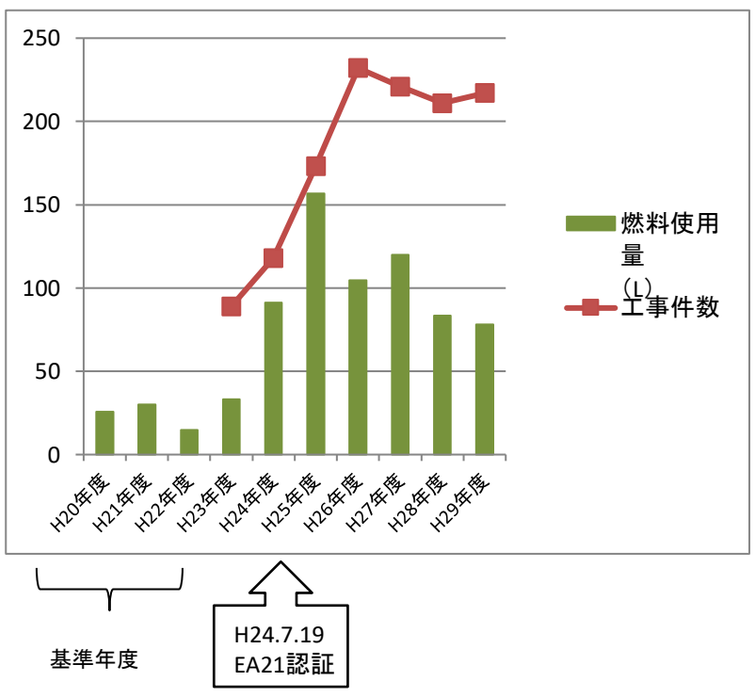


《排出水》

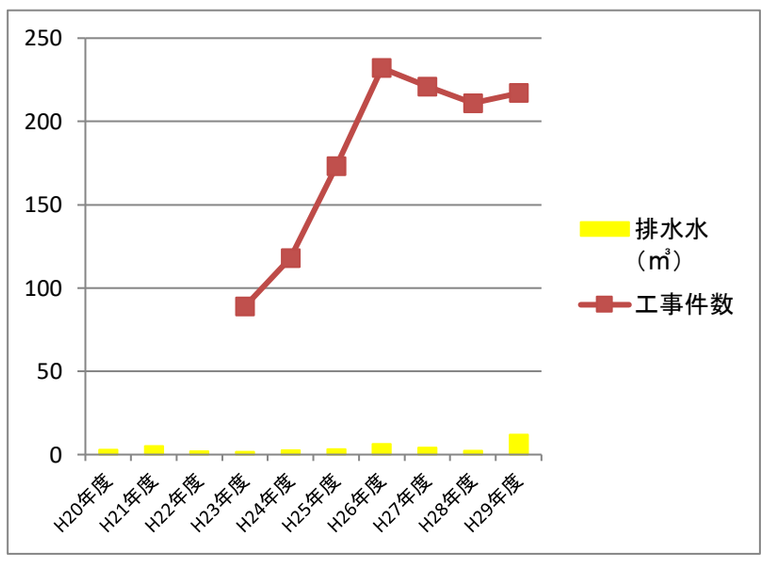


【工事編】

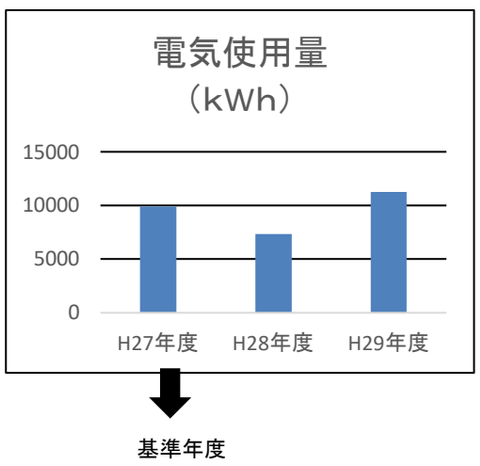
《燃料》

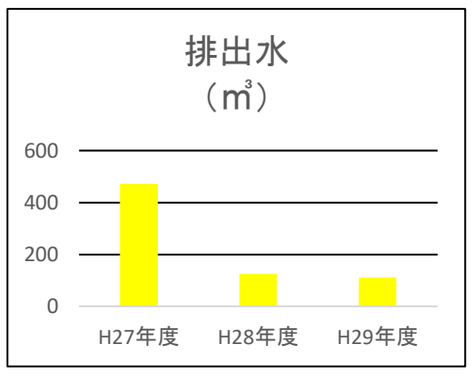


《排出水》



【陽だまり寮編】





5-2,次年度の活動計画の内容

次年度の取組内容は、引続き同じ内容にて取組こととする。

6-1,環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況をチェックの結果違反はありませんでした。
尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も
過去3年間ありませんでした。

7-1,代表者による全体評価と見直し結果（総評）

あっという間に1年という時間は過ぎて行くもので、日々、スタッフ全員がエコアクション２１の事を気にかけながら、ちょっとずつ少しずつ気張り過ぎない程度に取り組んだ結果が1年という長い時間、そしてこの取り組みを始めてから7年近い年月をもやり続けて来れたと、改めて全スタッフを誇りに思います。
また近年、建設業が景気を盛り返してきている状況の中、建設事業部・環境事業部・輸送事業部と、忙しい日々を送らさせて頂いております。
ついこの様な状況になると、エコアクションの様な活動を疎かにしてしまいがちではありますが、この活動の最も良いところが、定期的に見直しや更新など、取得させっぱなしではなく、定期的に検査をしてくれることです。
やはり「数値がでなくても仕方ないよね」といった話が聞こえて来る事もありますが、結局はサボった分だけ数値に出てしまい、ごまかそうにも、ごまかせないものであるが故に上記にも記した通り、ちょっとずつ少しずつ、気張り過ぎずに取り組む事。
そして取り組める活動でもあることが、一番の利点だと思っています。

今回で取得から4回目の更新となり、どこか中だるみというか取り組みに対しての成果が出にくくなっている状況に、いら立ちの様な脱力感の様な、少し停滞期に入っているのではないかと推測します。今、打ち上げ花火的なネタを入れ込んで、スタッフのる気スイッチを無理やり入れることも出来るし、そうではなく、地道な活動が大事なんだという事を改めて説くことで、皆のやる気スイッチが切れない様にすることも出来る。なんにしても、何かしらの手を打たなければ、後の活動にそろそろ支障をきたす気がします。

今、光進工業株式会社が行っている活動は、ほんの小さなことかもしれません。
しかし、この小さな活動が時に大きな波と成りうる事もあるのだと知ってほしい。
事実、エコアクション21の取り組みやまち美化活動や子育て支援活動など、日頃からなに特別な気遣いをしていますか？そうではなく、優しさや譲り合いの精神や利他の精神といった事の心配りだとおもいます。

各自が限界を自分自身で創り出さず、やると決めた事をただひたすらにやり抜く事を心に近い、これからのエコアクション２１を始め、各活動に邁進しましょう。

平成30年5月19日

光進工業株式会社

代表取締役　細川　忠広

8-1,取組内容

取組内容～1～

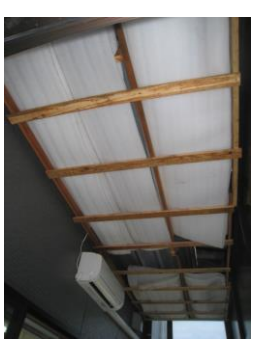
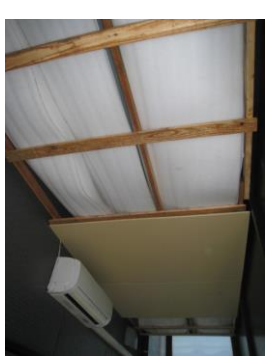
不要な電球は取り外しています。

【ｺﾞﾐの量を減らす為、取り組んでます】

水分を
飛ばす為
干してます

肥料にし
菜園等に
使用してます

【省エネの為、受付天井の工事を行いました】

8-1,取組内容

取組内容～2～

トイレ

↑

節水への呼びかけ

↓

トイレ

台所

洗濯場

トイレタンクの中に
ペットボトルをいれてます。

節電への呼びかけ。

設定温度を決めてます。

給湯器は最低温度(37℃)を
保ってます。

全車に貼り付け、
エコドライブを推進しています。

重機全台に貼り付け、
呼びかけてます。

8-1,取組内容

取組内容～3～

ｺﾞﾐは分別してリサイクルしています。

絵を入れて、分りやすくしました。

呼掛けチラシを、新たにし、意識改善 UPを目指してます。

プラスチック

紙

ビニール

ｱﾙﾐ・ｽﾁｰﾙ・びん・ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙに分別してます。

ﾌﾟﾙﾄｯﾌﾟとｷｬｯﾌﾟは別に分けてます。

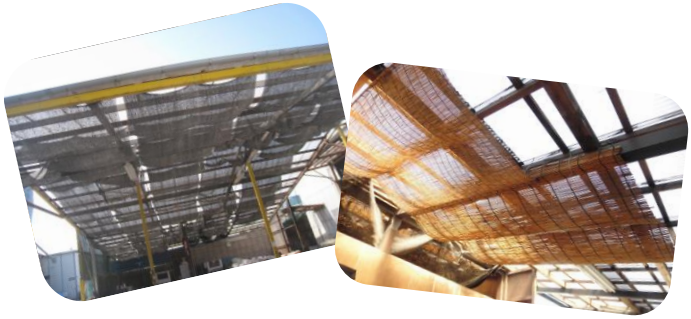
8-1,取組内容

取組内容～4～

【清掃活動】
H29.10.3　地域清掃を行いました

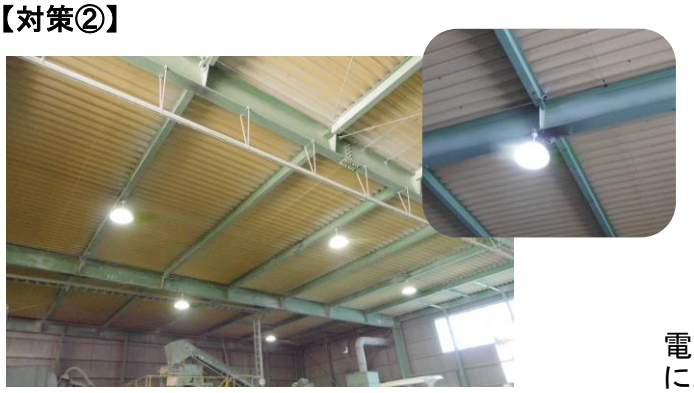
完了

【対策①】



電気使用量削減の為、ネット・すだれを設置し、
暑さ対策を行ってます！！

【対策②】



電気使用量削減の為、工場照明器具を「エコ太郎」
に、取り替えました！！

8-1,取組内容

取組内容～5～

【その他】

朝の声掛け運動

ヒヤリハット会議

免許証ﾁｪｯｸ

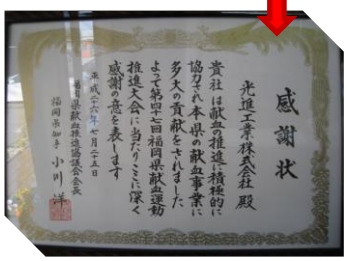
ｱﾙｺｰﾙﾁｪｯｸ

No残業dayの呼びかけ

年2回の献血活動

古切手を集めて、寄付してます

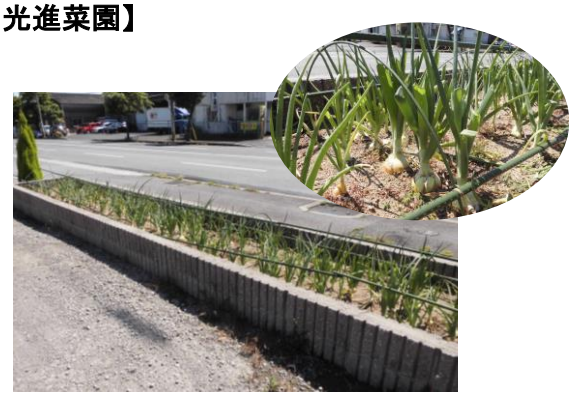
今年も ”愛は地球を救う”
24時間テレビに参加しました



第47回福岡県献血運動推進大会
にて、感謝状を頂きました

【エコプランター（廃タイヤ再利用）】

【光進菜園】



8-1,取組内容

取組内容～6～

【その他】

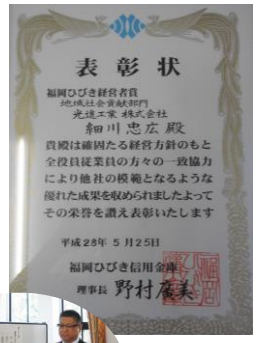
●弊社は、同じ地域に出来た、仮出所者更生保護施設からの元受刑者や、
生活保護受給者達の社会復帰の支援や児童相談所からの未成年の保護活動を積極的におこなってます。

平成25年9月28日
北九州市より
協力事業主として表彰されました

平成25年4月10日 ・ 平成25年8月5日 ・ 平成27年5月17日
新聞に掲載されました

ソロプチミスト日本財団様より
社会ボランティア賞を頂きました

福岡保護観察所より
更生保護事業の功績をたたえて
感謝状を頂きました



福岡ひびき信用金庫様より
地域社会貢献部門の福岡ひびき経営者賞を頂きました

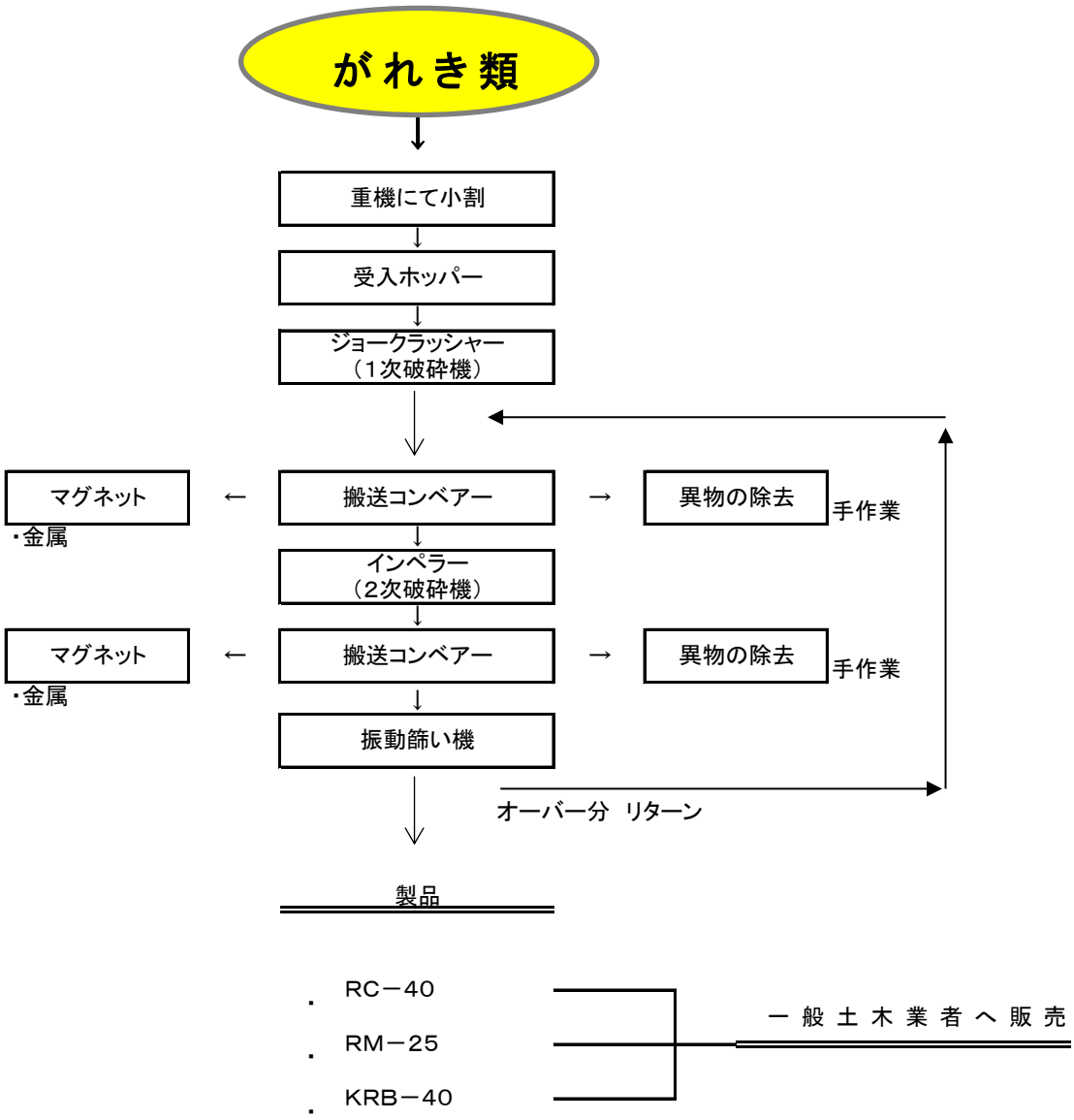
H27.4.8 **民間企業で日本初！！**

社会復帰を目的とした更生支援寮を建てました

【光進工業㈱ 陽だまり寮】

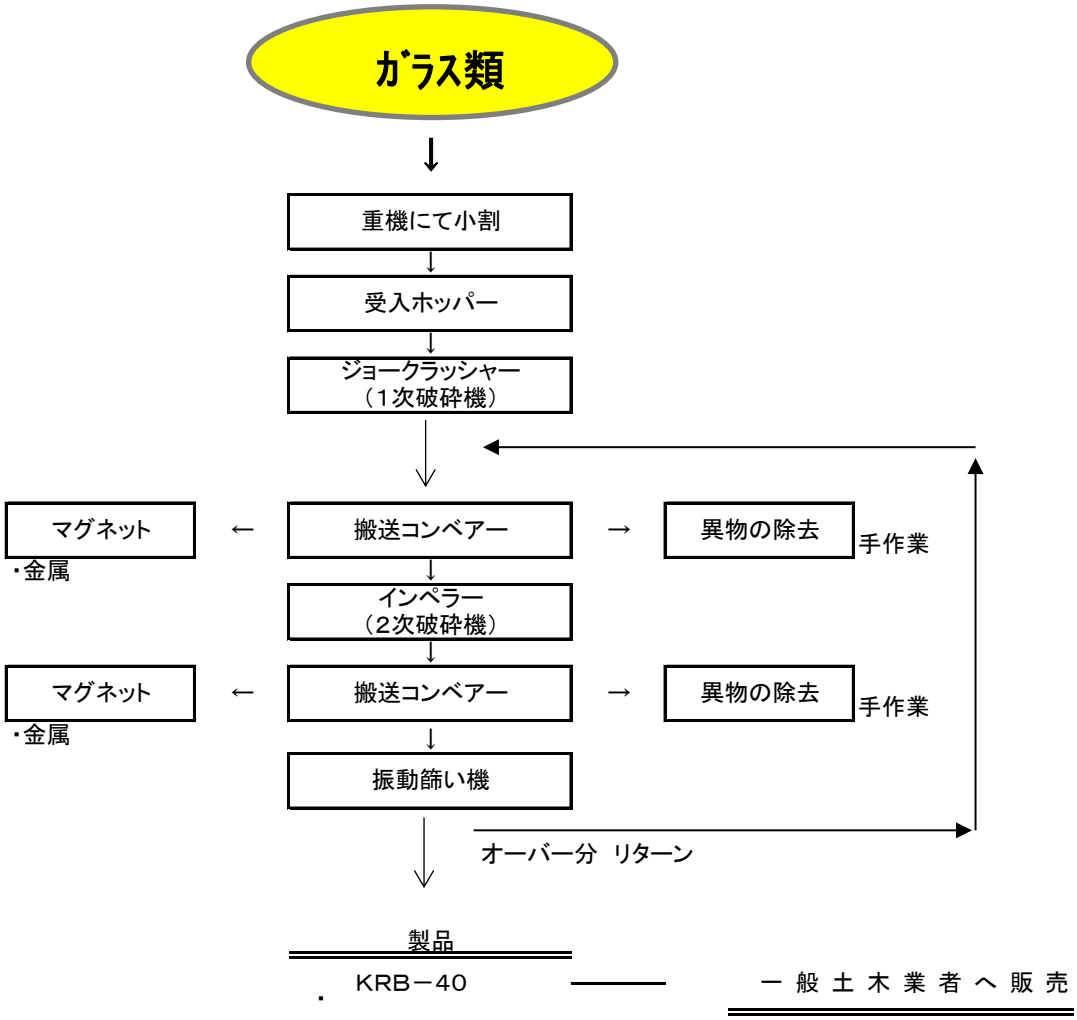
9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～1～



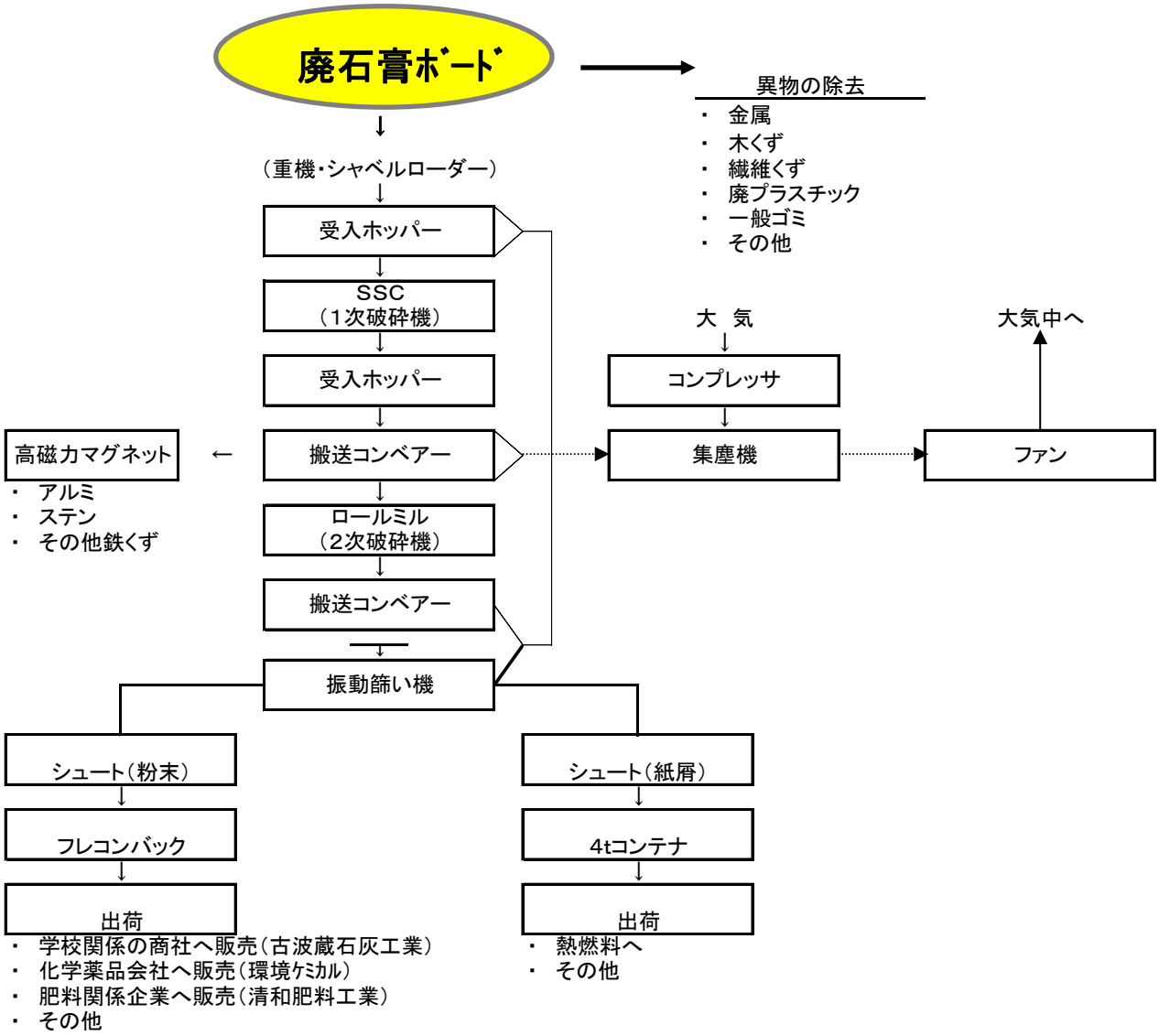
9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～2～



9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～3～



9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～4～

廃プラスチック
（破砕機）

→ 異物の除去（手作業）

・紙くず

・金属くず

・木くず

・その他

↓

手選別

↓

受入ホッパー

SSC-2-50140

1次破砕機

↓

輸送ベルトコンベアー

磁選機

↓

CZ100

2次破砕機

↓

搬送コンベアー

↓

搬出ホッパー

↓

製　　品

・カレット（コムスジャパン）

9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～5～

発泡スチロール（減容機） → 異物の除去（手作業）

・紙くず
・廃プラスチック
・木くず
・その他

↓

手選別

↓

投　入

↓

減容機

↓

搬　出

↓

製　　品

・ブッロク柱

9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～6～

プレスプラ・紙
（減容機）

→ 異物の除去（手作業）
・紙くず
・廃プラスチック
・木くず
・その他

↓

手選別

↓

投　入

↓

圧縮機

↓

搬　出

↓

製　品

・プレスプラ
・プレス紙

9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～7～

木くず
（破砕機）
→ 異物の除去（手作業）
・紙くず →自社処理（圧縮）
・金属くず →有価にて売却
・その他

↓
手選別
↓
受入ホッパー
↓
← 廃石膏ボード
剥離紙
SSC-2-50140
破砕機
↓
搬送コンベアー
↓
磁選機
↓
HM-100S
破砕機
↓
搬送コンベアー
↓
搬出ホッパー
↓
製 品
・おがくず

納入先 ： 木材開発へ売却
バイオマスボイラー燃料として使用されます。

繊維くず
（破砕機）
→ 異物の除去（手作業）
・紙くず →自社処理（圧縮）
・金属くず →有価にて売却
・その他

↓
手選別
↓
受入ホッパー
↓
SSC-2-50140
破砕機
↓
搬送コンベアー
↓
磁選機
↓
HM-100S
破砕機
↓
送風機
↓
エアーダクト
↓
製 品
・おがくず

納入先 ： 木材開発へ売却
バイオマスボイラー燃料として使用されます。

9-1,廃棄物処理フロー図

フロー図～8～

一般廃棄物

↓

回収

↓

日明清掃工場

・ 焼却